



# 和歌山サンライズロータリークラブ週報

Date. 2011-06-21

～クラブテーマ 【身の丈の奉仕】～

Vol. 2 Total. 54 No. 46

## <自由討論>

本日は自由討論と云う事で、日頃から疑問に思うこと、お考え等について話し合ってみました。次年度の週報のデザインには会長も変わることですし大幅にデザインを変更をしてみたいと思います。テーマとしては「エンを大切に」といたします。人のご縁、人の輪等を考慮して、円のように広がってひいては会員の増強に繋がっていくと云う事になるのではないかと考えます。ホームページも一新いたしますので皆様からの情報を沢山お寄せいただき、充実させていきたいと思っております。現在の例会形態は、できるだけ長く保持しながら、また新しい方法も考えております。ニコニコ箱はスマイルボックスと名称変更します。会員増強をするに当たり、会費や入会金もどれくらいの金額が妥当か考える必要があるのではないのでしょうか。ビジターの方が来訪しやすくするためにビジターフィーの金額も検討してはどうでしょうか。メイクアップ方法の研究等も進めてゆきたいと思っております。ROARのアマ



チュア無線を利用したメイクアップ方法、IP電話もしくはスカイプの利用による委員会の開催、パソコン及びスマートフォンを使った新しい形式のミーティングを推進しては如何ですか。スマートフォンは、最近注目されているものの一つですが、中々使いこなすのは大変です。しかし慣れる事が使いこなしの近道だと思いますので、早めに挑戦してみませんか。ナビゲータやメール、ニュースなど非常に便利な道具と思いません。スマートフォンやパソコンを使った電話、スカイプも便利な道具と思いません。来期はメイクアップカードやクラブ旗、新デザインのバナー、経理用ソフトなど、経費が必要かもしれません。亀岡先生のお話で、ロータリーの会にはできるだけ多く出席することで理解が深まると言われておられましたので、皆で都合が付けば出席するようにしたいものです。



## <会長の時間>

1. 次年度より入会金、年会費を変更します。次年度よりビジターフィーも変更します。
2. 年度末に当たり、活動報告書と活動計画者の作成をお願いします。
3. 決算のため会計ソフトの購入を考えていますのでご了承下さい。
4. 次年度からの新しいクラブの形態を研究してゆきます。
5. 次年度より夏の例会は、服装にクールビズを取り入れます。

<本日のプログラム> 第54回例会 2011-06-21 「最終例会」 5階 505号室

<次回のプログラム> 第55回例会 2011-07-05 「初例会」 5階 505号室

事務局 〒640-8281

和歌山市湊通丁南1-3-1

TEL. 073 (433) 6050

FAX. 073 (433) 6052

E-mail:wakayama@sunriserc.jp Hp:http://www.sunriserc.jp

例会場 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 TEL. 073 (435) 5200

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2

例会日 火曜日 午前9時～10時

### 四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

## <毎年あなたも100ドルを>

### 前回の記録

第53回例会 2011-06-14  
ソング「奉仕の理想」

「自由討論」全会員  
ビクター なし  
本日出席 100.00%  
前々回出席 100.00%  
メイクアップ なし

### ニコニコ箱

柳瀬 智明会員：あともう少し。  
豊澤 たつみ会員：大震災から3か月が過ぎました。出来ることから協力しましょう。  
豊澤 洋太郎会員：今回を含めて残り2回の例会になりました。1年間、皆様のご協力有難う御座いました。

### 米山奨学

柳瀬 智明会員：何かすっきりしない天気です。  
豊澤 洋太郎会員：米山奨学にご協力有難う御座いました。  
豊澤 たつみ会員：世界の天候が変ですね。

### ロータリー財団

大村 八平会員：何も解らず、今年も早や紫陽花の色づく頃となりました。  
柳瀬 智明会員：少しでもガンバって。  
豊澤 たつみ会員：ロータリーに入会して、修行の毎日でしたが1年経過しました。  
豊澤 洋太郎会員：ロータリー財団にご協力ありがとうございました。



### 長期的な災害復興活動

自然災害の起きた後、報道メディアが去った後も未永く現地に残って活動を続けているのがロータリアンです。かつて人々が暮らし、働き、家庭を持っていたその土地で、地道な復興活動を支援しています。ロータリー財団はこうした長期的な復興プロジェクトを数多く支えており、その一部を以下にご紹介します。

### ニューオーリンズの高校を支援

ハリケーン「カトリーナ」の被災者は、災害で多くを失いました。ニューオーリンズ・ロータリー・クラブの会員もその例外ではありませんでしたが、災害後、ルイジアナ州で最も歴史ある公立高校を立て直そうと支援に乗り出しました。被災後の様子とロータリアンによる復興活動については、こちらのウェブページ（英語）をご覧ください。

### 修築された高校で科学の授業を受ける生徒たち

### ハイチで医療支援を行う

ハイチを訪れたロータリアンのチームは、医療支援を行う一方、現地でソーラーパネル（太陽光発電）を設置し、遠隔地の村で医療クリニックを運営したり、給水ポンプを使えるようにしました。全文はこちら。

### ホンジュラスの地域再建に貢献

ホンジュラスのヌエバ・エスペランサでは、ロータリー財団の補助金445,000ドルを活用して、ハリケーン「ミッチ」による被災地域の再建が行われました。補助金はさらに、眼科医療と歯科医療、医薬品、医療機器、本、コンピューターの提供にも使用されたほか、女性が小規模なビジネスを始めるための小口融資にも活用されました。

ロータリー財団を通じたそのほかの素晴らしい活動の例は、ロータリー財団考をダウンロードしてご覧ください。

### すべてのクラブからのご協力を

5月18日現在、年次プログラム基金にまだご寄付をいただいていないクラブの数は全世界で11,289です。そのすべてのクラブから仮に1,000ドルずつご寄付いただいた場合、疾病予防、きれいな水の提供、子供の死亡率の低下、教育、職業訓練といった活動のために1,100万ドルを確保できることとなります。

ロータリー財団では、2010年7月1日から2011年5月1日までの間に、1,912件のマッチング・グラントと地区補助金の申請書を受理しました。これらの補助金の合計額は、51,385,906ドルとなっています。これらは、皆さまから年次プログラム基金へのご寄付があってこそ実現されるものです。プロジェクトに資金を提供する方法については、こちらのウェブページをご参照ください。

### 財団寄付への熱意を引き出す

クラブでの財団寄付は、順調に目標へ向かっていますか。寄付を促すためのヒントを「ロータリー・リーダー」5月号をご覧ください。

「ロータリー・リーダー」5月号はこちら

### 財団寄付の活用先

ロータリー財団の資金の仕組みについて、新しいEラーニング・モジュールができました。

Eラーニング「財団の資金の仕組み」はこちら